

Project

brief 1

プロジェクト紹介

響灘緑地の指定管理事業の取り組み

～市民に愛される公園づくり～

川本 卓史

KAWAMOTO Takashi
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
プロジェクト開発部 次長



栗山 喬

KURIYAMA Takashi
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
プロジェクト開発部



深迫 祥太

FUKASAKO Shouta
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
プロジェクト開発部



はじめに

当社は平成22年度に長野県の「国営アルプスあづみの公園」の運営管理を皮切りに、群馬県の「群馬県立敷島公園」、兵庫県の道の駅「しんぐう」の指定管理事業を展開してきた。そして平成26年度より福

岡県北九州市において「響灘緑地（グリーンパーク）」の指定管理事業に取り組んでいる（図1）。

本稿では当社が公園の運営管理に加え、周辺地域の活性化をふまえたグリーンパークにおける指定管理事業の紹介をする。

グリーンパークの概要

グリーンパークは北九州市にある広域公園である。有料の公園面積は28.3haであり、大芝生広場（写真1）・花壇（写真2）・野外ステージ・熱帯生態園・ポニー広場・サイクリングターミナル・バラ園などがある。



図1 グリーンパーク周辺図



写真1 来園者で賑わう春の大芝生広場



写真2 色とりどりの花が咲き乱れる花壇



図2 「グリーンパーク活性化共同事業体」体制図

基本テーマ

グリーンパークの基本テーマは、響灘の海洋と頓田貯水池によって構成される「水」、広大な芝生広場と樹林地によって構成される「緑」、そしてポニー広場や貯水池に飛来する野鳥等によって構成される「動物」という自然に恵まれて、「水・緑・動物たちとのふれあい」としている。

運営団体と構成員

グリーンパークの運営管理にあたっては3社でジョイントベンチャー（JV）を組織し、グリーンパーク活性化共同事業体という名称で運営管理を行っている。その3社は、代表企業の株式会社オリエンタルコンサルタンツ、構成員である岡崎建工株式会社、株式会社ファームである。

オリエンタルコンサルタンツは統括管理・運営全般・企画広報・飲食物販・品質管理・安全管理、岡崎建工は施設維持管理・植栽管理、ファームは動物管理を担っている。（図2）

運営理念は「再活性化」

当JVはグリーンパークの基本テーマである「水・緑・動物」を活用し、市民に愛される公園づくりを

- 基本方針1：一年を通じて楽しめるレクリエーション機能の充実
- 基本方針2：市内外への多様な媒体による情報発信
- 基本方針3：営業活動の展開による集客
- 基本方針4：北九州市民の健康や教育の支援
- 基本方針5：環境活動への積極的な取り組み
- 基本方針6：相乗効果を発揮する地域との協働
- 基本方針7：安全・安心は最大のサービス
- 基本方針8：親切丁寧、平等・公平な接遇

図3 8つの基本方針

指すため、「響灘緑地の再活性化（グリーンパーククリアライズ）～四季を通じて、市民と育む、にぎわい拠点づくり～」という運営理念を定めた。この運営理念の下、グリーンパークを拠点とした地域活性化を展開している。

8つの基本方針とこれまでの取り組み

当JVは運営理念をふまえた8つの基本方針を定めた。その方針に基づくこれまでの取り組みは以下である。（図3）

- 基本方針1：一年を通じて楽しめるレクリエーション機能の充実
- 基本方針2：市内外への多様な媒体による情報発信

これまでのグリーンパークは、春と秋の気候が良い時期は来園者が集まる公園であったが、夏と冬は閑散期となっていた。その要因として、夏は日差しが強く、屋根も少ないため敬遠され、さらに夏と冬は催しを

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
フラワーフェスタ												
春のバラフェア												
夏ぼうけんフェスタ												
遊んじゃ王・食べちゃ王												
秋のバラフェア												
おもちゃの広場												
フリーマーケット												

図4 グリーンパーク年間計画

開催していなかったためと考えられる。そのため夏と冬においてグリーンパークへの来園動機の向上を図る必要があった。

そこで当JVは夏休みの時期に水遊び施設や子どもたちの興味を引くような催しを行った。これまでじゃぶじゃぶ池（写真3）というすべり台つきの浅いプールを運用していたが、アクアチューブ（写真4）を追加導入した。また、昆虫標本の展示や生きた昆虫とふれあう催しを行った。これらにより、平成26年8月は前年同月の2倍の来園者を迎えた。

- 基本方針2：市内外への多様な媒体による情報発信

グリーンパークでは、北九州市の市政だより、公式ホームページ、フェイスブック、季節ごとに発行するチラシ・ポスター、地元のテレビ番組やラジオ番組への出演、テレビCMの配信、新聞への掲載依頼等の情報発信を幅広く展開している。

しかしこれまで、チラシ・ポスターを広く発行することはなく、春と秋の一般的な公園利用に適した時期にのみ来園者が集中していた。

そこで、夏もグリーンパークで楽



写真3 夏季のじゃぶじゃぶ池



写真4 アクアチューブ



写真5 フリーマーケットの来園者で賑わう大芝生広場



写真6 雑貨や古着が並ぶ「みつばちフリマ」

しんでもらえる施設があることを周知するため、北九州市内のすべての幼稚園・保育園・小学校の全児童に渡るようにチラシ・ポスターを配布した。チラシにはグリーンパーク内の飲食施設等で利用可能なクーポン券を添付した。

さらに前述した夏休みの時期の催しに合わせて「夏ぼうけんフェスタ」のチラシを配布したことも来園者増に寄与したと考えられる。

● 基本方針3: 営業活動の展開による集客

グリーンパークは北九州市においては知名度の高い公園であるが、周辺地域ではまだ存在を知らない方もいる。そこで当JVはグリーンパークをより認知して、来園していただけるような営業活動を行っている。

これまで、北九州市外の幼稚園や保育園からの遠足利用はあまり多くなかった。そこで当JVは、グリーンパークには広大な芝生広場があり、魅力的な遠足地であることをPRするため、北九州市近郊の保育園・幼稚園に対して遠足案内のダイレクトメールを送付した。

また観光協会とも連携し、国内外の団体ツアー等の集客にも取り組んでいる。

● 基本方針4: 北九州市民の健康や教育を支援

北九州市は政令指定都市の中で高齢化率が高い。そのため当JVは、北九州市の高齢者をはじめとする市民の健康促進や生涯学習の機会を設けることを目的として、健康や教育を支援する事業を行っている。

健康や教育を支援する「OPEN CLASS～自然とふれあう体験教室～」の催しは、当公園のテーマをはじめとする自然とふれあうことにハードルを感じている方々が、気軽に自然とのふれあいを体験できる教室である。具体的には「バラの育て方教室」やグリーンパークの野鳥を観察する「探鳥会」などを開催している。(図5)

また、学校法人国際学園が運営する「グラッチャ子ども運動トレーニングセンター」との共催で、スポーツイベントを実施している。親子でのキャッチボールや正しい走り方を

教える教室など、子ども向けのスポーツ教室を行い、子どもたちが運動や礼儀について学ぶ催しを開催している。

他にも地域社会への貢献活動として、中学生向けの職場体験を受け入れている。動物の飼育や清掃、花の手入れ等、中学生らがグリーンパークでの仕事を体験している。

● 基本方針5: 環境活動への積極的な取り組み

北九州市は平成23年12月に「環境未来都市」に選定された。同市はこれまでも公害や高齢化などの日本が直面する課題に、他都市に先駆けて取り組み成果を挙げてきた。これを受けグリーンパークでも、環境活動を積極的に行っている。

具体的には、市民のエコ意識の向上を目的としたフリーマーケット「みつばちフリマ」を行っている。(写真5、6) また、森をつくるため、どんぐりを預かり育てる「どんぐり銀行」

グリーンパーク講習会 9月～10月 OPEN CLASS ～自然とふれ合う体験教室～

月	日	曜日	講演会名	人数	内容
9	13	土	バラの育て方③	50	秋の剪定
	13	土	9月の探鳥会	30	パーク内の鳥を見よう!
10	18	土	楽しい野菜づくり③	30	冬野菜の栽培管理
	18	土	10月の探鳥会	30	パーク内の鳥を見よう!
	19	日	フラワーアレンジメント	30	屋外でアレンジメント
	25	土	樹木の手入れ	30	松のみみあげ

図5 OPEN CLASSの開催スケジュール例

活動にも参加している。

● 基本方針6: 相乗効果を発揮する地域との協働

運営理念にもあるように、当JVは「市民と育む、にぎわい拠点づくり」を目指している。その達成のため当JVのみで企画や運営を行うだけでなく、北九州近郊の団体と協働して事業を行っている。

具体的には、地元北九州の企業で構成する「ぐーすろっか」とともに音楽・物販の催し「Goose Meeting」を行っている。

また、「OPEN CLASS～自然とふれあう体験教室」においては、北九州近郊で活躍されるそれぞれの分野の講師を招き、子どもスケッチ教室、フラワーアレンジメント教室、ソフトブーメランの体験会などを開催している。

● 基本方針7: 安全・安心は最大のサービス

来園者が安全に安心してグリーンパークを利用できることは一番重要である。そこで「安全・安心は最大のサービス」と銘打ち、「安全」「安心」をテーマに運営管理を行っている。

じゃぶじゃぶ池にある水流すべり台は、材質が全てコンクリート製であり、滑走面の終点において、過去、地面との衝突事故が起り、何度か救急車を呼んでいた。そのため当社で

は、滑走面の終点の地面にゴムチップを施工し、衝突を和らげるようにした。これにより、衝突事故は発生していない。

● 基本方針8: 親切丁寧、平等・公平な接遇

公園における運営管理は接客業の面を持ち合わせており、来園者と接するスタッフの接遇は公園の運営管理において重要な事項の一つである。そこで基本方針として「親切丁寧、平等・公平な接遇」を掲げている。

来園者と接するスタッフに対し、接遇能力の向上のため定期的に接遇研修の機会を設けている。入園受付を行う改札スタッフだけでなく、動物飼育員や清掃スタッフなど来園者と接する機会のあるスタッフ全てが受講している。

春と夏に実施した来園者アンケートでは、両時期ともに「スタッフ対応の良さ」の項目において95%以上から「非常に満足」もしくは「満足」の回答をいただいた。接遇研修の効果が現れてきている。

現状の課題と今後の展開

集客の課題の一つとして、雨天時の来園者が少ないことがある。一年を通じて楽しめるレクリエーション機能や営業活動・広報活動の充実

により来園者数は増えているが、雨天時は極端に減っている。これはグリーンパークには雨を遮る施設が少なく、雨天時の利用が難しいということが考えられる。

このため、雨天時にも来園者が多数訪れる催しを行う必要がある。例えばグリーンパークに存在する屋根付きの野外ステージやイベントホール、熱帯生態園などの雨天時にも利用可能な常設の展示物の設置や、雨天時に映える紫陽花などの花々を植えて修景に配慮する等の施策が必要である。

おわりに

当社は創業以来、公園、道路など社会資本整備の全般に関わっており、高度経済成長など国の発展に寄与してきた。その経済発展も一段落した今日の成熟社会において、これまでの公共性の高い仕事の経験を活かして、響灘緑地の指定管理事業をはじめ、指定管理者として「安全・安心」はもとより、周辺地域を活性化し「まちづくり」に貢献するための事業を展開している。

今後も指定管理者として運営管理のみに捉われず、施設周辺地域の地域活性化に貢献し、指定管理事業における成功事例の展開を図りたい。